

病害虫発生予察情報

1 2 月月報

平成 24 年 1 月 17 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2011 年 12 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	11.1	-2.4	3.2	0.4	7.2	-0.8	66.0	333	38.7	73
中旬	12.1	0.1	0.0	-1.4	6.1	-0.4	0.0	0	77.8	134
下旬	9.0	-2.3	-1.9	-2.0	3.6	-1.9	0.0	0	75.5	111
平均	10.7	-1.6	0.4	-1.0	5.6	-1.0				
合計							66.0	126	192.0	107

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

<天候概況>（千代田区大手町）

気 温：上・中・下旬とも低かった。

降 水 量：上旬はかなり多く、中旬は平年並、下旬は少なかった。

日照時間：上旬は少なく、中旬はかなり多く、下旬は平年並だった。

上旬：4日から5日にかけてと7日及び10日は冬型の気圧配置となったため晴れた。その他の日は気圧の谷や低気圧の通過により曇りや雨となり、特に3日は前線を伴った低気圧が関東地方を通過したため大雨となった。

中旬：冬型の気圧配置となった日が多くおおむね晴れた。14日は関東地方の南海上を低気圧が通過したため一時雨となった。東京（大手町）では11日に平年より9日早く、また昨冬より16日早く初霜を観測した。

下旬：22日は気圧の谷の通過により曇りとなったが、その他の日は冬型の気圧配置となったためおおむね晴れた。東京（大手町）では26日に平年より9日遅く、また昨冬より12日早く初氷を観測した。

2 作物生育概況

（1）野菜類

果菜類：促成トマト、促成イチゴはおおむね順調であった。

葉根菜類：施設コマツナ、ホウレンソウなどの軟弱野菜は前半順調であったが、後半気温が下がり、生育が進んでいない。キャベツの苗は、現在のところおおむね順調である。ハクサイやネギの生育は順調である。ダイコンやニンジンについては、収穫期がやや早まっているが、おおむね順調であった。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト(施設・抑制)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ(施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ(施設)

ケナガコナダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モモアカアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ(施設)

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ナミハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類(施設)	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
シクラメンホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

(3) 島しょの病害虫

大 島：トルコギキョウで根腐病の発生が多かった。その他、レーザーファンでヨトウムシ類の発生が目立った。

三宅島：ハウスのキヌサヤの一部で、アザミウマ類の発生と、火山ガスによる葉の傷みと落蕾が目立った。

八丈島：ロベでバッタ類、野菜類全般でカタツムリの発生が多かった。

小笠原：農業センター内のトマトでチャノホコリダニの発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

テレフォンサービス

0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

なお、テレフォンサービスは平成 24 年 3 月で終了する
予定です。4 月以降、本サービスの情報については病害
虫防除所のホームページに掲載する予定です。

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。